

窓にシャッターを取付

2hour
Reform

Before



施工の流れ

Start!



窓や外壁はそのまま



外壁に下地部材を取付け

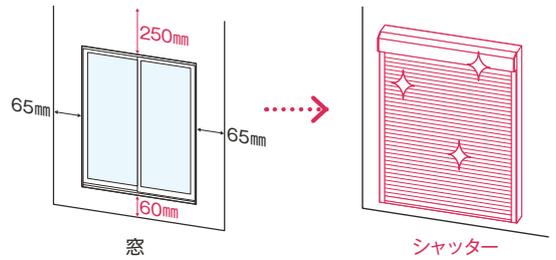
※下地部材なしもご用意しています。

● シャッターを壁の上から取付けて、2時間*でリフォーム完了。

※施工時間は納まり、条件によりプラスになることがあります。

● 取付に必要なスペースが小さくなり、さまざまな納まり対応が可能になりました。 [詳しくは](#) P.4

■ 標準の取付スペース



※上記寸法以外に作業スペースが必要です。

After



Finish!

シャッター枠と枠カバーを取付け、
シーリング処理の後、
シャッター部を取付け

※電動の場合は別途配線工事が必要です。

動作確認をして完成！

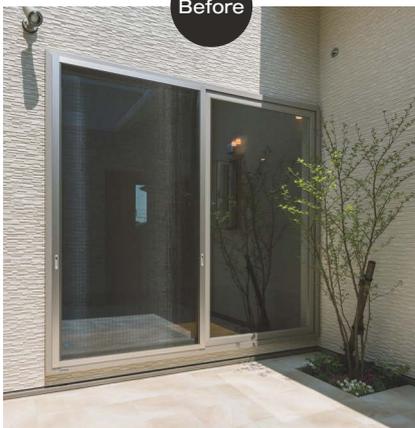
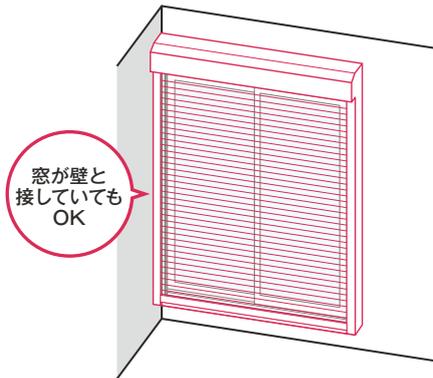
窓にシャッターを取付

2hour
Reform

特殊な納まりにも対応できます。

窓の横に余裕がなくてもOK

片入隅

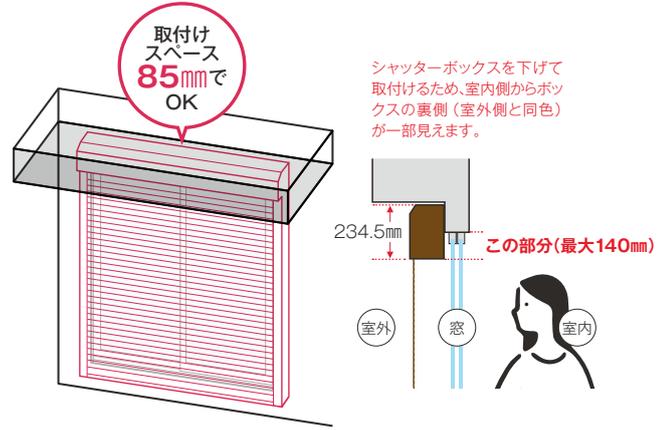


After

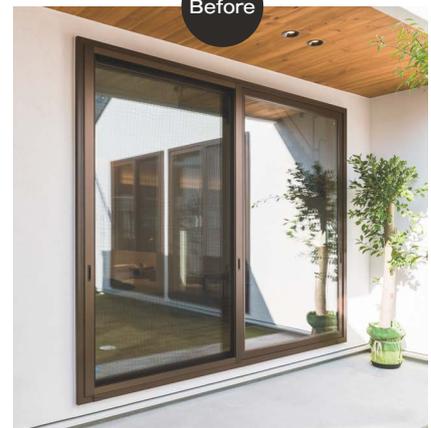


窓の上に余裕がなくてもOK

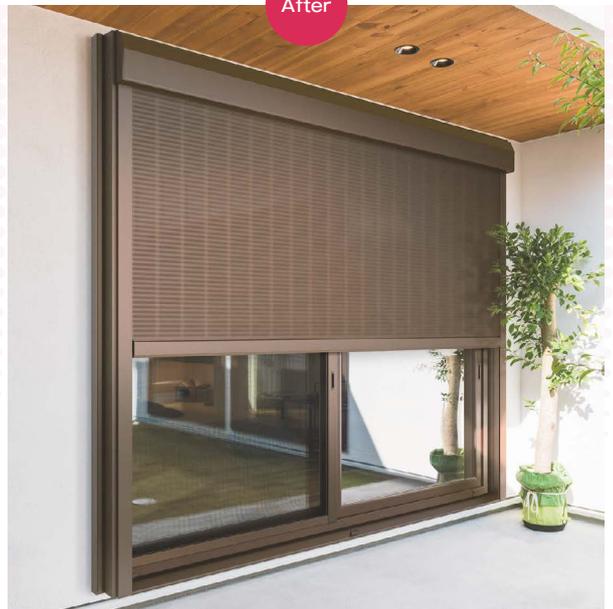
ボックス下げ



※上記寸法以外に作業スペースが必要です。

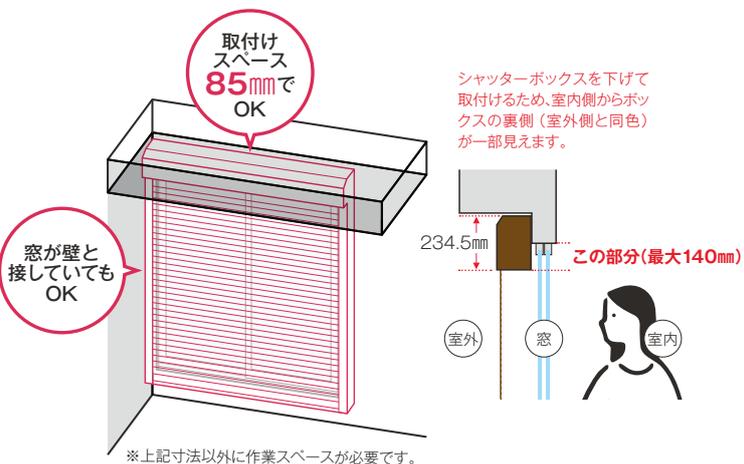


After



窓の横・上に余裕がなくてもOK

ボックス下げ片入隅



Before

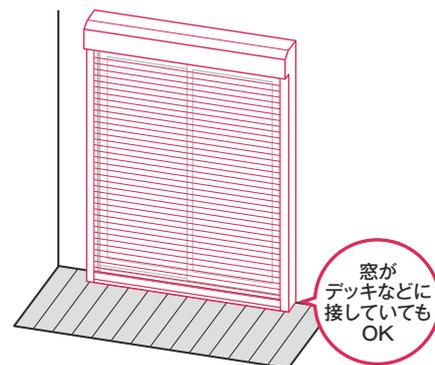


After



窓の下が土間やデッキに接していてもOK

土間用



Before



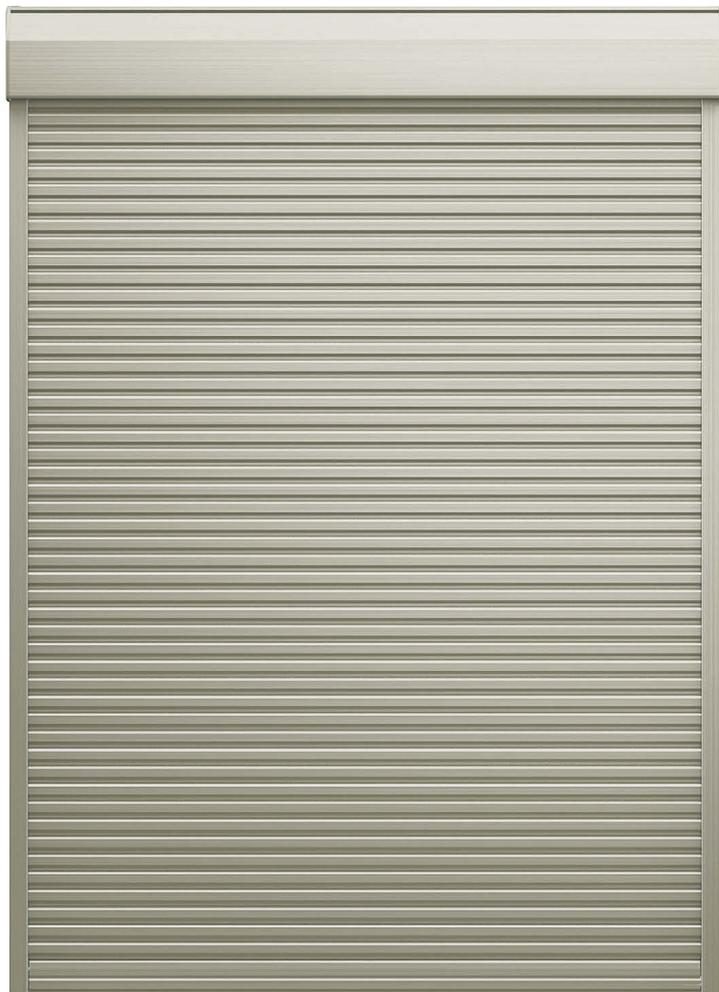
After





手動シャッター

確かな基本性能を備えた手動タイプ



「自動ロック機構」が 施錠し忘れを防ぎます

シャッターが完全に閉じると、座板に設置された錠が自動施錠されます。



※シャッターを閉める時は、完全に座板を押し下げて施錠状態を確認してください。

手動操作のしやすさに配慮しています

解錠レバーは、座板の左右全体にわたる形状のため、引違い窓の左右どちらの窓を開けても解錠操作ができます。



操作ロープを標準装備

高い位置にあるシャッターを降ろしたり、立ったままで操作するなど便利に使えます。マグネット付のため、使用しない時はスラットにくっつけておけます。



土間引戸用シャッター

室内、室外の両側からロック可能です。室外からは、専用キーで施錠操作ができます。

